

三宮周辺地区の『再整備基本構想』（素案）

平成27年6月 神戸市



1. はじめに p 1

- 構想の背景と目的
- 構想の検討エリア・目標年次
- 三宮周辺地区に求められること
- 三宮周辺地区の課題

2. まちづくりの基本方針 p 2

- 目指すべき将来像
- 「えき=まち空間」とは
- まちづくりの5つの方針
- まちづくりの方針図

3. 具体的方策について p 4

- 方針1
- 方針2
- 方針3
- 方針4
- 方針5

4. 構想の実現に向けて p 9

- 構想実現のための長期的スケジュールイメージ

■ 構想の背景と目的

- 神戸の玄関口である三宮周辺地区の再整備は、神戸のまちや経済全体を活性化するうえで不可欠であり、民間活力の導入を図りながら、魅力的で風格ある都市空間を実現することが求められています。
- 三宮周辺地区では民間事業者による開発機運が高まっており、神戸市が主体となる公共空間や公共施設整備と整合が図られた将来像を描くことが不可欠となっています。
- このため、行政と市民、事業者が共通の目標を持ちながら官民連携・協働で事業を推進し、さらなる民間事業を誘発することにより、都心の再生に向けた機運の高まりを確実に神戸の発展へとつなげていくため、事業化を見据えた具体的取り組みを含む「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」を策定するものです。

■ 構想の対象エリア・目標年次

- ・ 対象エリアは、神戸の玄関口である三宮駅を中心とした概ね半径500m程度の範囲とします。
- ・ 概ね30年後を見据えた段階的な再整備を前提とします。

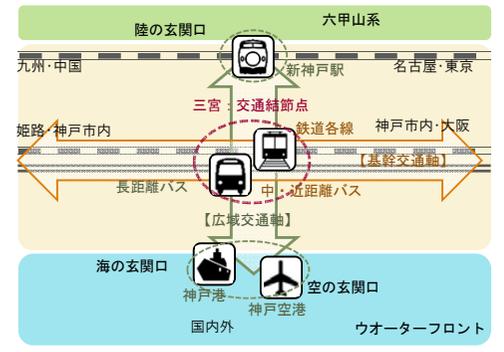


※1) 神戸の都心の『未来の姿』(将来ビジョン)

- ・ 神戸市総合基本計画を上位計画とした、都心の目指すべき方向性を示す部門別計画として、本構想と同時期に策定予定。
- ・ 検討対象範囲は、新神戸から三宮、元町を経て神戸・ハーバーランドまでを含む範囲としている。

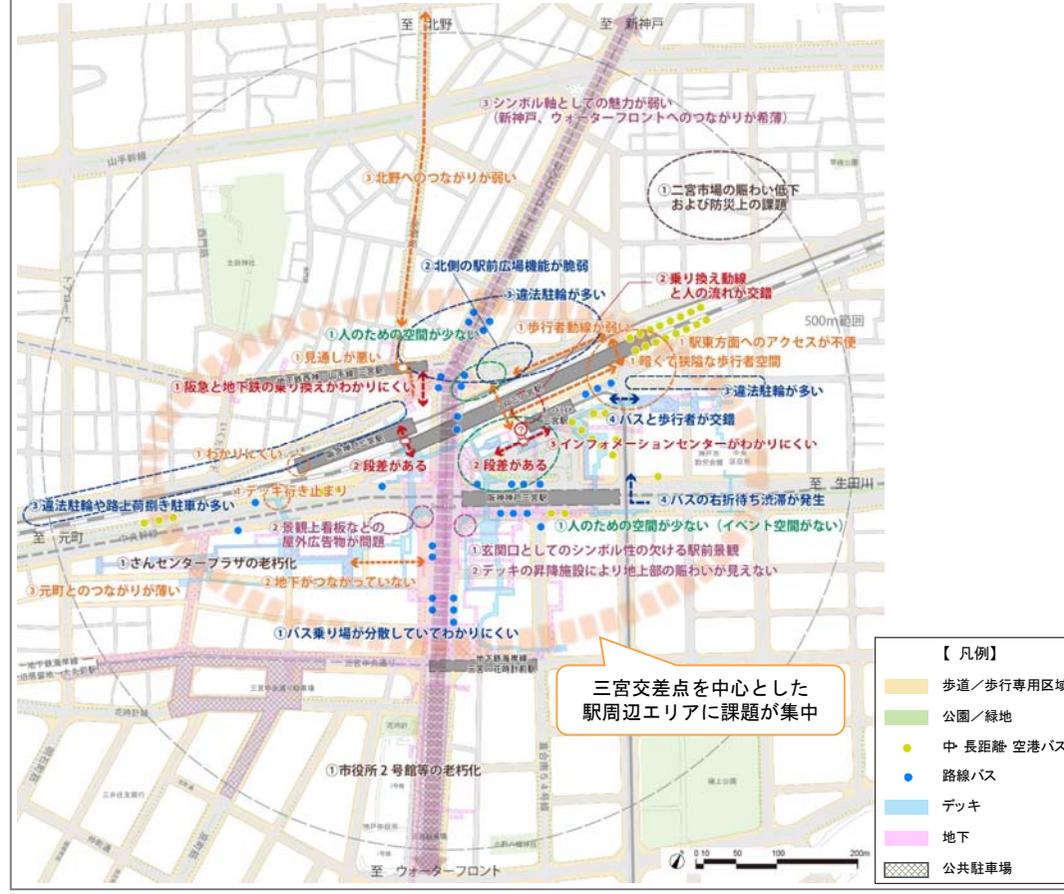
■ 三宮周辺地区に求められること

- 神戸の玄関口にふさわしい交通結節機能の充実
- デザイン都市・神戸の玄関口に相応しい景観形成
- 地区内及び周辺地域への回遊性向上
- 災害に強く、環境負荷の少ないまちづくりの推進
- 商業・業務、文化・交流機能の集積・更新



■ 三宮周辺地区の課題

- 乗り換え動線がわかりにくい**
 - ① 各種鉄道間の乗り換え動線がわかりにくい
 - ② デッキ上に段差がありバリアフリーでない
 - ③ 案内サインがわかりにくい、統一感がない
- 駅前広場の交通結節機能が弱い**
 - ① バス乗り場が分散していてわかりにくい
 - ② 北側の駅前広場機能が脆弱
 - ③ 駅周辺の違法駐輪が多い
 - ④ バスと歩行者の交錯による安全面の懸念、渋滞等の発生
- 神戸の玄関口にふさわしい特色ある景観がない**
 - ① まちのシンボルがなく、駅前がごちゃごちゃしている
 - ② 駅周辺に神戸らしい高質な緑がない
 - ③ フラワーロードのシンボル軸としての魅力が弱い
 - ④ 新しい高層マンションなどにより海と山への見通し景観が阻害されている
- 建物老朽化が進行、小規模建物が密集している**
 - ① 老朽化した建物の建て替えが進んでいない
 - ② まちの機能更新が進んでいないため、面的なエネルギー効率化などの環境への取組みが行われていない
- 広場など人のための空間が少ない**
 - ① 日常的な賑わい空間・イベント等ができる広場の不足
 - ② 街なか休憩スペースがない
 - ③ 駅周辺に防災拠点となるような空間がない
- 神戸経済を先導する機能、産業の集積が十分でない**
 - ① 少子高齢化など大きな社会経済状況の変化の下で、神戸が持続的に発展するための機能、産業が少ない
 - ② 神戸ならではの、神戸らしい機能等が十分でない

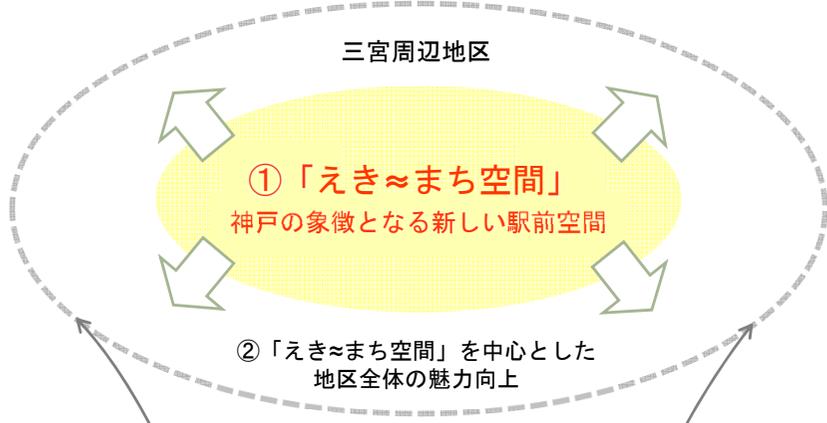


● 三宮周辺地区全体の魅力向上のためには、6つの駅を含む中心エリアの再整備が最重要課題。

目指すべき将来像

美しき港町・神戸の玄関口「三宮」

6つの駅をつなぐ、まちをつなぐ
歴史をつなぐ、海と山をつなぐ、ひとをつなぐ
未来へつなぐ



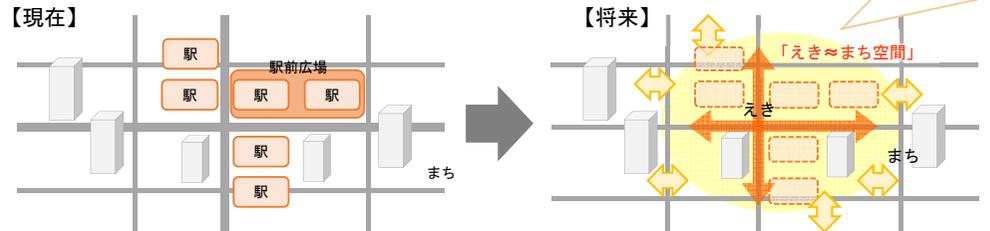
[まちづくりの骨格イメージ]

「えき≈まち空間」とは

まちであり駅である空間、「えき」（6つの駅とバス乗降場、駅前広場）と「まち」をつなぐ空間、これを、「えき≈まち空間」と名付け、神戸の玄関口としてふさわしい空間を整備します。

- 駅前の利便性をさらに高め、賑わいや活力を生み出す
 - ・ 駅前の道路を自動車から【人と公共交通優先の空間】に
 - ・ 民間ビルも活用しながら地下・地上・デッキの3層をより【上下移動しやすい空間】に
 - ・ 神戸らしさが感じられ誰もが印象に残る【美しいデザイン空間】に
- 「えき」と「まち」が平面的にも立体的にもつながり、移動しやすく心地よい「えき≈まち空間」が創出
 - ・ 三宮の6駅があたかも【1つの大きな「えき」】に
 - ・ 「えき」での乗り換えはもちろん、「まち」とも行き来がしやすく、【より便利で機能的】に
 - ・ もっと「まち」を体験したくなる【神戸の象徴】に

「えき≈まち空間」の「≈」には、
・ 「えき」と「まち」が緩やかにつながり、一体的な空間となる、
・ 「えき」から「まち」に（人が）流れていく
という意味合いを込めています。



[「えき≈まち空間」の将来イメージ]



「えき≈まち空間」は人と公共交通を優先としたまちづくりを行います。周囲にはバスやタクシーなどで駅に
来られる方のための寄り付き場も設け、誰にとっても使いやすく、安全で安心な場所を作ります。

1 まちづくりの5つの方針

1 笑顔で歩く
歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ

【にぎわい】

- ・人と公共交通優先の道路空間「三宮クロススクエア」
- ・歩行者に優しい駅前空間の実現に向けた都心の交通体系の見直し
- ・賑わいスポットへの回遊性を高める歩行者ネットワークの構築
- ・市民や来街者が自由に憩い・集える滞留空間の創出
- ・デザイン性に考慮した神戸らしい緑と花のプロムナードの形成

2 気持ちよく動ける
誰にでもわかりやすい交通結節点へ

【交通】

- ・ポイドの整備による3層ネットワークの強化
- ・中・長距離バス乗降場の集約、分散する路線バス乗降場の集約配置
- ・駅とまちとのつながり強化
- ・駅前広場機能の再配分や駅周辺の歩行者空間の整備
- ・多様な回遊手段の確保

3 誘う魅力が溢れる
いつ来てもときめく出会いと発見を

【生活・居住、産業】

- ・神戸に暮らし、働く魅力を高める
- ・神戸を訪れ、長時間滞在する魅力を高める
- ・官・民の特性をいかながら、協働で三宮の魅力を高める

4 海・山、神戸らしさを感じる
人を惹きつけ心に残るまちへ

【景観】

- ・玄関口に相応しい、神戸らしさを感じる景観の創出
- ・公共空間と民地が一体的にデザインされた駅前景観の創出
- ・眺望景観の確保、視点場の整備
- ・神戸の歴史や文化の薫りが漂う、風格ある街並みデザインの誘導
- ・日本を代表する夜間景観の更なる魅力向上

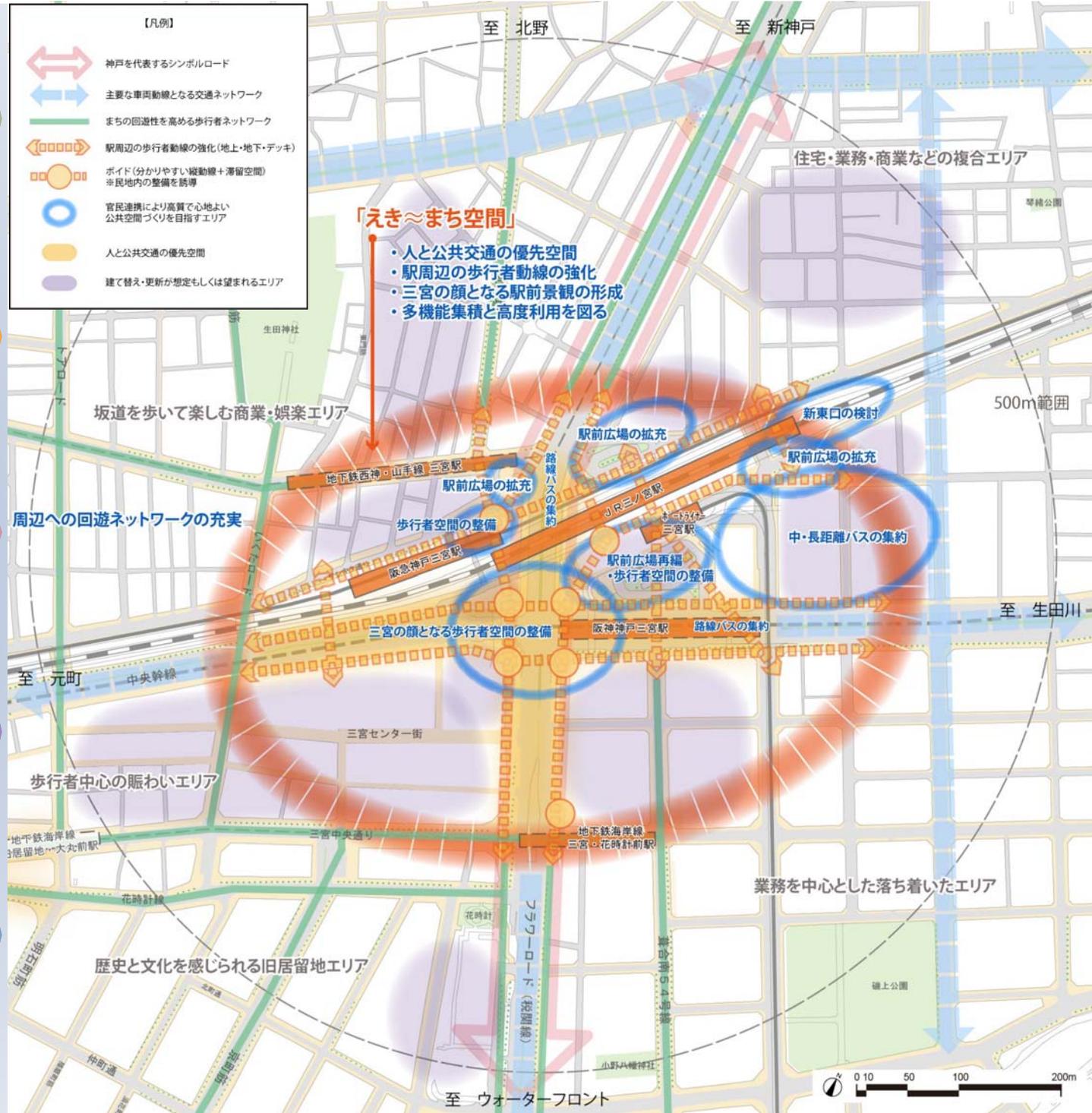
5 支え、まもり育て、発信する
地域がまちを成長させる

【観光・文化】

- ・地元協議会と連携したエリアマネジメントによる特色あるまちづくりの実践
- ・低炭素まちづくりやエリア防災への取組み
- ・神戸の魅力を国内外に広報・PRするシティプロモーションの強化

- 震災経験を活かした強い防災力 【防災】
- 環境負荷低減による次世代に継承するまちづくり 【環境・エネルギー】

1 まちづくりの方針図



笑顔で歩く

方針1：歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ

■ 人と公共交通優先の道路空間「三宮クロススクエア」

- 地区内6駅（JR、阪急、阪神、地下鉄西神・山手線、同海岸線、ポートライナー）を平面的に包括する三宮交差点を中心に、フラワーロードおよび中央幹線の一部を段階的に人と公共交通が優先の道路空間「三宮クロススクエア」とすることを目指します。
- 三宮を訪れる人々の活動の拠点・基点として、「えき≈まち空間」の象徴となる空間づくりを行います。

[現状]



6つの駅間を幹線道路が分断

[将来イメージ]



6つの駅をつなぐ空間を人に優しい空間に再編

■ 歩行者に優しい駅前空間の実現に向けた都心の交通体系の見直し

- 通過交通を外周道路へ誘導するための道路体系の見直しや、新たな交通手段の導入など、必要となる対策を十分に検討した上で、鉄道やバスの利用性向上と併せて、まちなかの自動車交通をできる限り公共交通等の利用に転換を図ります。
- 自動車での寄り付きを必要とする交通弱者の方や、商業者の荷捌きなど、まちなかに自動車で用事がある人の利便性にも配慮しながら、誰もが安全安心に歩くことができる駅前空間づくりを目指します。



[段階整備イメージ]



現状：車中心の道路空間



段階整備：車線減少、歩道拡幅

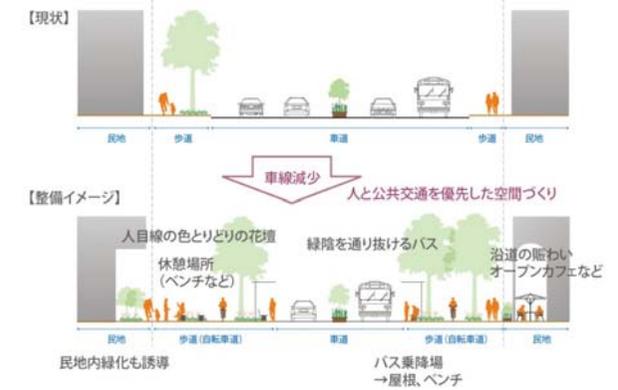


将来：人と公共交通のための空間

■ 賑わいスポットへの回遊性を高める歩行者ネットワークの構築

- 観光客も多く訪れる北野・旧居留地エリアや南京町・元町駅周辺などの賑わいスポットと「えき≈まち空間」をスムーズにつなぐ歩行者ネットワークを形成します。
- 沿道の統一された街並みや低層部の連続する賑わいなど、歩いて楽しい回遊性を付与します。
- 歩行者ネットワークとなる道路空間では積極的に歩道拡幅、緑や花壇等の環境整備を行い、安全で快適な歩行者環境を創出します。

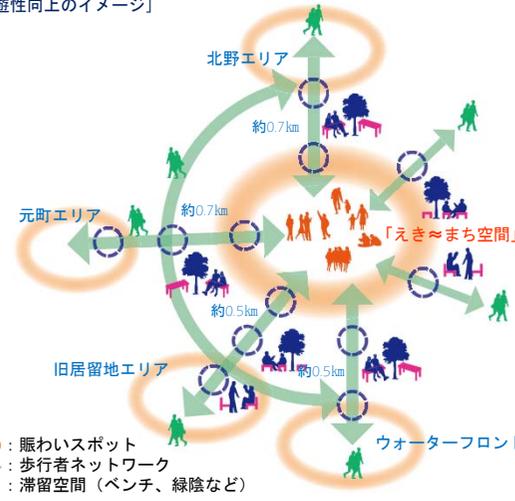
[道路のり・デザイン]



■ 市民や来街者が自由に憩い・集える滞留空間の創出

- まちの回遊性向上のために歩行者ネットワーク上には休憩できる快適な緑陰空間を整備します。
- 街区単位での共同化促進により、ゆとりある歩行空間を創出しまちなかの滞留空間を増やします。

[回遊性向上のイメージ]



緑と花のある休憩場所



賑わいのある溜まり空間

■ デザイン性に考慮した神戸らしい緑と花のプロムナードの形成

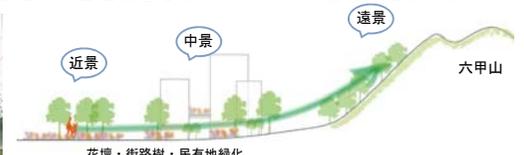
- 市民や企業の協力を得ながら、緑陰空間や休憩場所と一体的な緑と花の空間を整備を推進します。
- 六甲山系の山並み、世界につながる海を活かした、緑と花を感じるプロムナードを形成します。



ふれあい花壇



まちの緑と六甲山系の山並み



花壇・街路樹・民有地緑化

南北方向のプロムナードイメージ

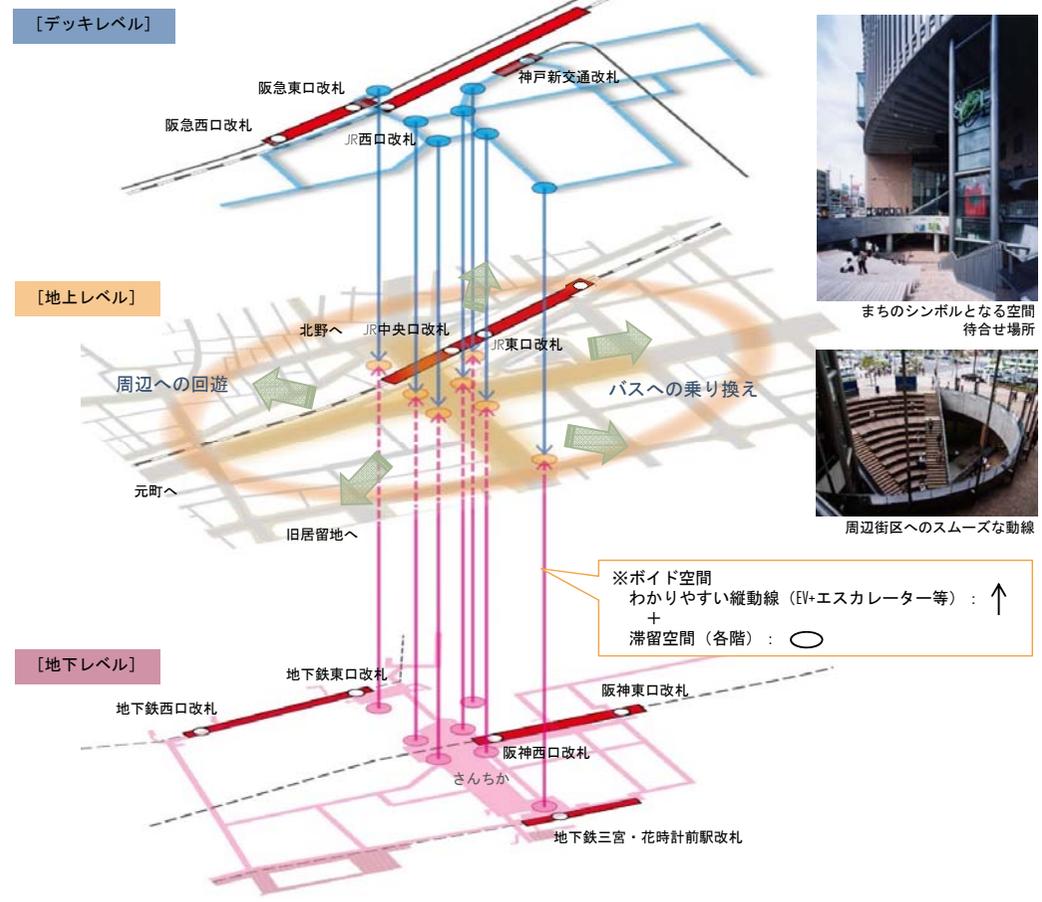
気持ちよく動ける

方針2：誰にでもわかりやすい交通結節点へ

■ ボイドの整備による3層ネットワークの強化

- ・ 周辺開発にあわせて、ボイド（わかりやすい縦動線+滞留空間）を整備することで、駅周辺の3層ネットワーク（地下・デッキレベルの歩行者ネットワークと地上との接続動線）の改善強化と拡充を図ります。ボイドの整備においては、周囲からの視認性やわかりやすさなどに配慮します。
- ・ 3層ネットワーク動線の強化により階層の異なる6つの駅のつながりを高めるとともに、人の流れを安全・快適に地上部へ誘導することで、元町やウォーターフロント、北野坂、旧居留地など周辺の魅力スポットへの回遊性を向上させます。
- ・ 駅前の景観形成や公共空間における歩行者空間の有効活用に配慮し、3層ネットワークをつなぐボイドは官民連携により民地内の整備を推進します。

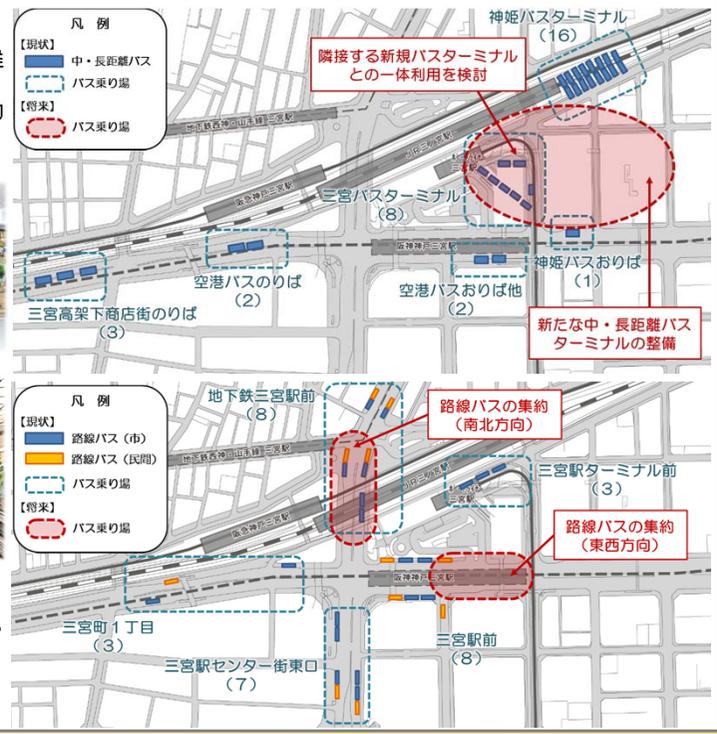
[将来ネットワークおよびボイドの整備イメージ ※各階のネットワークについては現時点でのイメージ]



※ボイド空間
わかりやすい縦動線（EV+エスカレーター等）：↑
+
滞留空間（各階）：○

■ 中・長距離バス乗降場の集約、分散する路線バス乗降場の集約配置

- 中・長距離バス
 - ・ 現在分散されている中・長距離バス乗降場を集約し、中央区役所街区とミント神戸を一体的に利用したバスターミナルを新たに整備します。



- 路線バス
 - ・ 現在路上に分散配置されている路線バスを方面別に集約・再配置し、利用者のわかりやすさを向上させます。

■ 駅とまちとのつながり強化

- ・ まちへのアクセスや乗り換え動線をわかりやすくするため、鉄道改札口やバス乗降場など交通上の主要拠点となる場所からまちが視認できる「見通し」や、次に行きたい方向が一目で分かる案内サイン等を整備します。



■ 駅前広場機能の再配分や駅周辺の歩行者空間の整備

- ・ 駅前広場の再整備では人の空間を優先する。一方で、タクシーや一般自動車にも配慮した寄り付き場を設け、多様な交通手段に対応します。
- ・ 駅周辺の歩行者移動を妨げる放置自転車対策として、鉄道事業者等とも連携し、駅前広場の再整備や周辺の開発にあわせ、駐輪場を整備します。



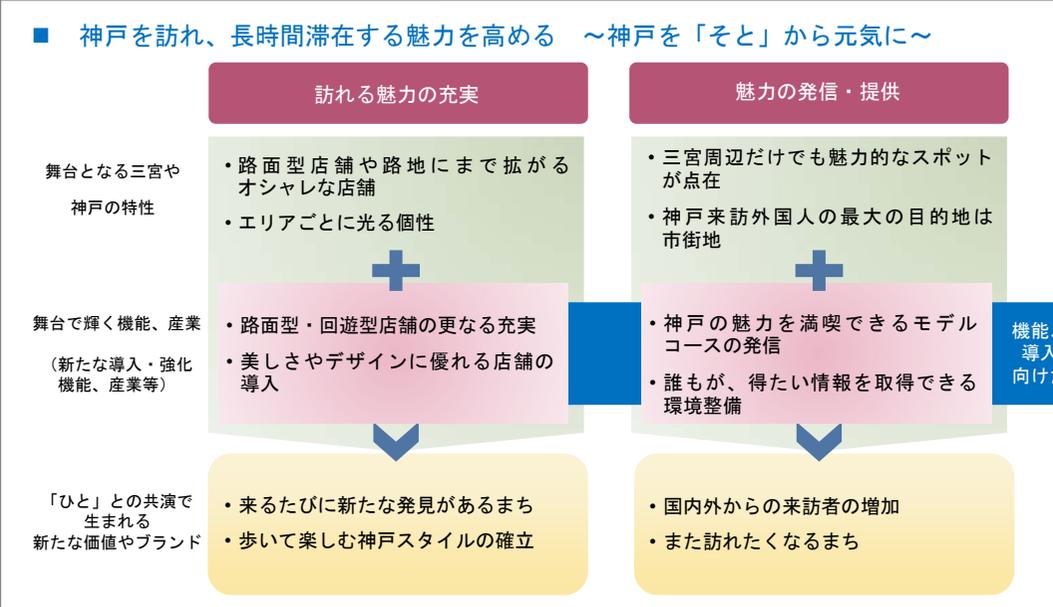
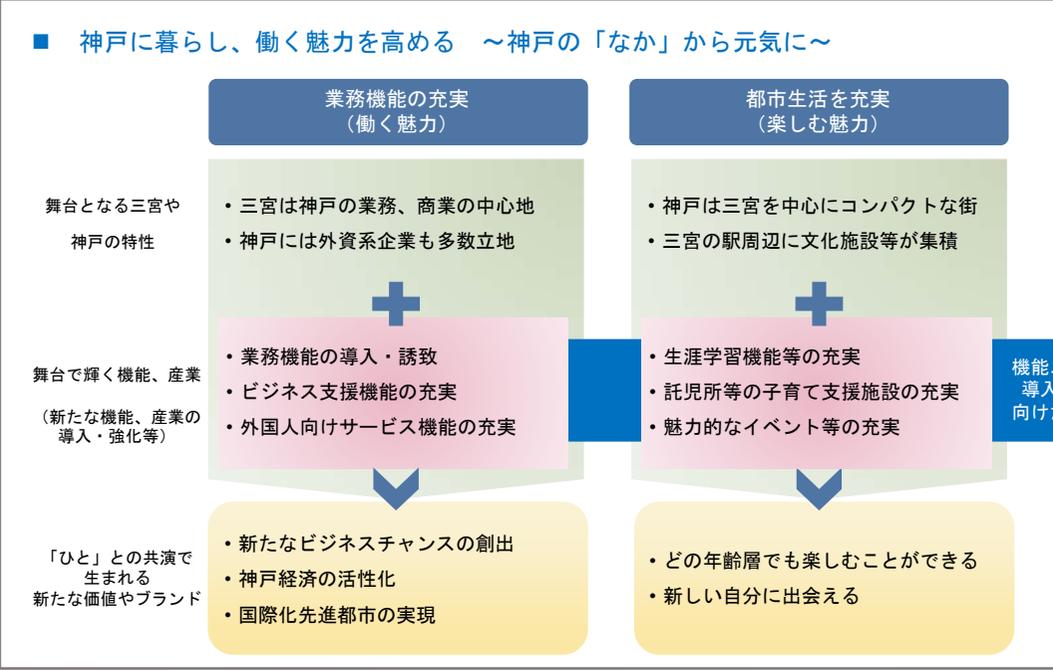
■ 多様な回遊手段の確保

- ・ 徒歩での移動に加えて、まちへの回遊性を高める手段として、平成27年3月よりコミュニティサイクルコペリンの運用を開始。さらに、都心でのワンウェイ型のカーシェアリングやLRT・BRTの導入を検討します。



誘う魅力が溢れる

方針3：いつ来てもときめく出会いと発見を



■ 官・民の特性をいかしながら、協働で三宮の魅力を高める

業務機能の充実（働く魅力）

- 起業家の初期の活動を支える拠点「神戸スタートアップオフィス」の設立と、その支援の枠組み「アクセラレーションプログラム」を構築（スタートアップ活動資金提供、アクセラレータの活動助成）
- 外資系を含む企業誘致のための優遇措置（都心での家賃補助、税制優遇等制度の導入検討）
- 大学集積都市としての神戸の強みを活かした大学との連携・交流拠点の整備検討（市内大学間の連携や発信事業、企業や行政との産学官連携、地域やNPO等との連携を誘発する交流・連携拠点の整備検討）

都市生活を充実（楽しむ魅力）

- 大規模再開発等に合わせた知的欲求を満たす図書館や生涯学習施設等の更新・導入
- 「えきまち空間」における多様な世代に対応する魅力的なイベントの開催
- 建物の改修、更新等に合わせたバリアフリー化や、女性や子育て世代も気持ちよく安心して利用できる施設の整備



女性や子育て世代も気持ちよく利用できるトイレのイメージ

訪れる魅力の充実

- 路面型・回遊型店舗の整備を促進する誘導・支援策の導入
- 大規模建築物の低層部へのにぎわい施設の誘導・支援策の導入
- 「えきまち空間」における民による官民空間の一体的利用を可能とするしくみの導入
- BID制度などを視野に入れたエリアマネジメントによる公的空間の利活用

魅力の発信・提供

- 行政、事業者、地元が一体となった観光プロモーションの拡充（例：「おとな旅・神戸」）
- ビッグデータを活用した観光マーケティング分析による新たな観光ルートの開拓や来街者が「知りたい」情報の解析
- KOBE Free Wi-Fiのサービス拡充



海・山、神戸らしさを感じる

方針4：人を惹きつけ心に残るまちへ

■ 玄関口に相応しい、神戸らしさを感じる景観の創出

- 三宮駅前において、既存の景観計画地域を拡充し、さらに屋外広告物の目指すべき方向性を示すなど積極的に景観デザイン誘導を実施します。
- 訪れた人の心に残り、市民が誇りに思える景観を創出します。

・シンボル性に乏しく、神戸らしさを感じられない駅前景観



神戸らしさを感じる景観



低層部および外構イメージ（緑に囲まれ官民敷地が一体的な設え）

■ 公共空間と民地が一体的にデザインされた駅前景観の創出

- 駅前広場・道路空間などの公共空間と民地が互いに意識しながらデザインすることで、駅前空間全体に統一感を持たせます。

【整備イメージ】



○ わかりやすい縦動線

○ 花と緑のある憩い空間

○ 公共空間と民地の一体的な活用

○ 高質な歩道空間

○ 沿道の賑わい

○ 歩行者と公共交通優先の優しいまち

■ 眺望景観の確保、視点場の整備

- 三宮の立地特性を活かして、都市部では希少な緑の豊かさ、水際の開放感を体感できる眺望景観の確保、視点場の整備を検討します。



山への眺望確保



海と山がまちに近接

■ 神戸の歴史や文化の薫りが漂う、風格ある街並みデザインの誘導

- 景観デザインコードを設定することで建築物や公共施設のデザイン誘導、屋外広告物のコントロールを行い、神戸らしさを感じられる風格ある街並みを誘導します。



自然素材、小さめの開口部、垂直的な意匠がもたらす風格の創出



屋外広告物のコントロール（京町筋）

■ 日本を代表する夜間景観の更なる魅力向上

- 国内でも有数の魅力ある夜景にさらなる磨きをかけるため、より美しい夜間景観の創出を目指します。
- 既に行われているライトアップの活動などを活かして、集客を高め街の活力向上にも寄与する夜間景観の創出への取組みの強化、拡大を行います。



居心地の良い暖かな電球色（神戸都心夜景10選）



夜も漂うおもてなしの霧囲気（フラワーロード光のミュージアム）



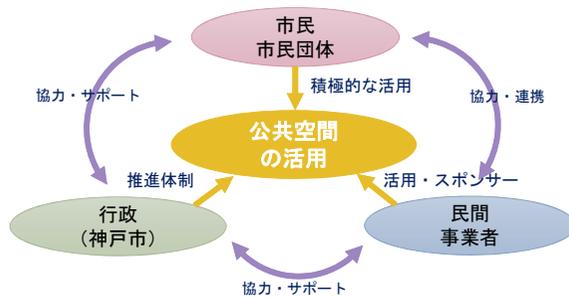
夜のまちなみにも風格を演出（旧居留地）

支え、まもり育て、発信する

方針5：地域がまちを成長させる

■ 地元協議会と連携したエリアマネジメントによる特色あるまちづくりの実践

- 既に行われている取り組みをさらに広げていくことによって、個性あふれるまちづくりを実現します。
- 都心部にある公共空間をより多くの人々が楽しく活用できる場として活用できる仕組みを検討します。



[三宮駅周辺におけるエリアマネジメント事例：光のデッキ回廊]

- 三宮駅南エリアでは、賑わい創出と集客力アップのため、近隣商業施設と交通事業社が連携し、冬の期間、デッキやビルをライトアップを開催



LEDライトで彩るイルミネーション事業、クリスマスコンサート

[東遊園におけるエリアマネジメントイメージ：パークマネジメントによる公園の有効活用]

- 東遊園地ではすでに、「神戸ホワイトディナー」、「アーバンピクニック」など、まちを上手に使っていく取り組みが市民活動として始まっています



市民が主体となった賑わいイベントの実施

[市民主体の賑わい活動の将来イメージ]



沿道でのミニ演奏会

企業と協力した国際的なファッションイベント

定期的なマーケットの開催

■ 低炭素まちづくりやエリア防災への取り組み

- いざという時、各施設間において電気を融通しあえるなど、防災や環境に配慮したまちづくりを推進します。

[低炭素まちづくりへの取り組みイメージ]

- 持続可能で低炭素な三宮地区のリノベーションを牽引していくために、既存の地下空間を活用して面的エネルギー利用を可能とする管路ネットワークを形成
- 建替えや設備更新などに合わせて順次ビル群を接続し、有機的に拡大・成長する「次世代スマートエネルギーインフラ」構築



[用語説明]

- BEMS：ビルエネルギーマネジメントシステム（ビル内の電力需要と電力供給のコントロールエネルギー効率を高めるシステム）
- CEMS：地域エネルギーマネジメントシステム（地域内の電力需要と電力供給をコントロールしてエネルギー効率を高めるシステム）
- コジェネ（熱電供給）：天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム

■ 神戸の魅力を国内外に広報・PRするシティプロモーションの強化

- 国内外からの観光客に対するインフォメーションサービスの強化を図ります。
- 震災復興の記憶と共に、これからの神戸・三宮の発展の歴史を広く伝えていく施設整備を検討します。

[参考事例：シティギャラリー：シンガポール]

- シンガポール都市再開発庁（URA）内にあり、市民や観光客向けに、著しい成長を遂げたシンガポールの現在までの都市発展の歴史を、ジオラマやビデオ、写真などで紹介する公共施設
- シンガポール中心市街地のジオラマ模型がフロアいっぱいに展示されており、竣工・計画・建設中の段階ごとに異なる仕上げで、これからシンガポールがどのように発展していくかを見て取ることができる



インフォメーションの再整備イメージ

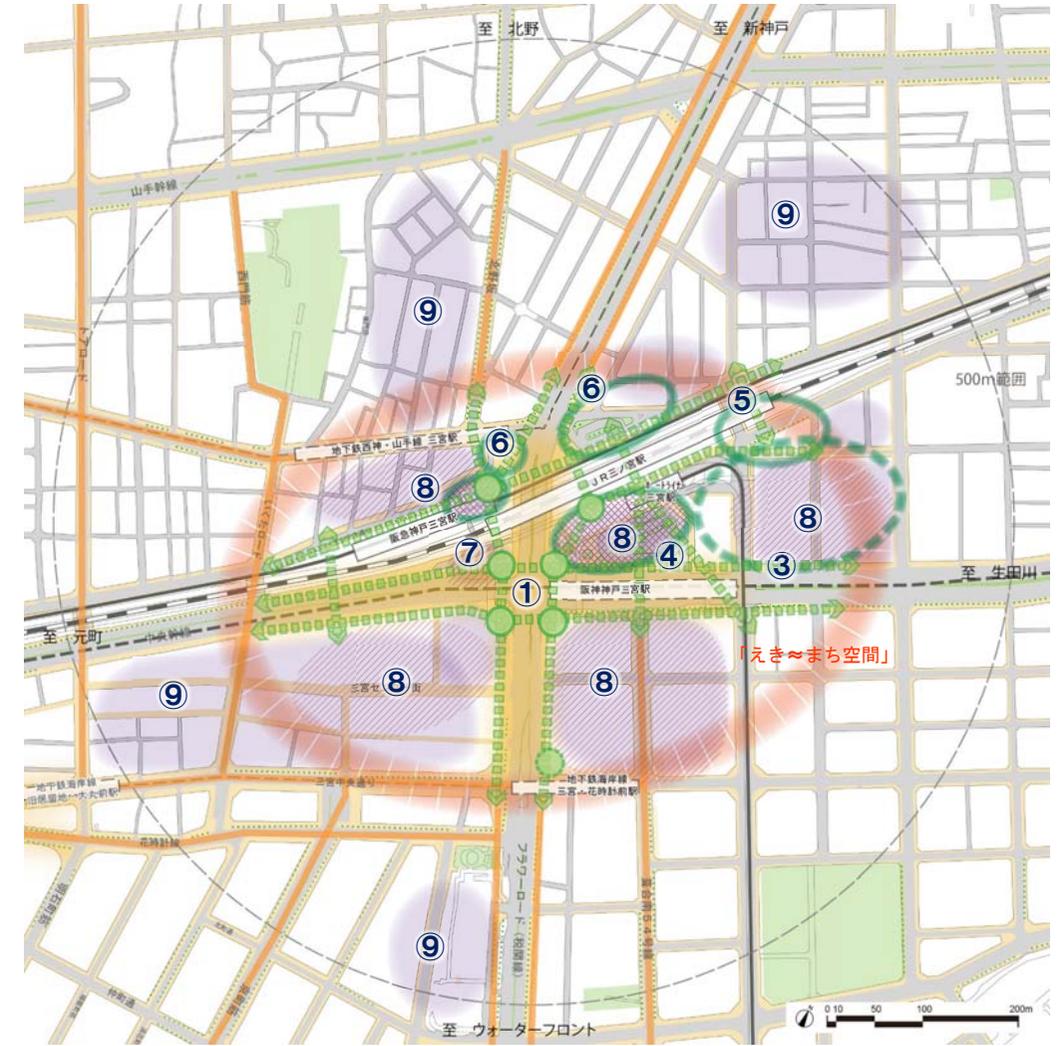


市街地ジオラマ模型（MIPIM JAPAN）

■ 構想実現のための長期的スケジュールイメージ

		平成27年9月	短期	中期	長期
主要プロジェクト					
まちの再整備 到達イメージ			<ul style="list-style-type: none"> 先行街区での建替えが進行中 道路のリ・デザイン進行中 	<ul style="list-style-type: none"> 乗換が分かりやすい新バスターミナルが完成 3層ネットワークが強化 道路のリ・デザイン進行中 	<ul style="list-style-type: none"> 「えき〜まち空間」の整備が概ね完了 ゆとりある駅前空間と神戸を象徴する玄関口としての景観が創出されている
道路 リ・デザイン	① フラワーロード、中央幹線の人と公共交通優先化 (三宮クロススクエア)		歩道拡幅にかかる計画、設計、整備		
	② その他(葺合南54号線等)			人と公共交通優先化にかかる計画、設計、整備	
③ バスターミナル再編 (三宮東エリア)				新バスターミナル整備等にかかる計画、設計、整備	
駅前広場 拡充等	④ JR南		計画、設計、整備		
	⑤ JR東			計画、設計、整備	
	⑥ JR北・阪急北			計画、設計、整備	
⑦ 三宮交差点ほかポイド・歩行者動線等整備				デッキ整備等にかかる計画・調整、設計、整備	
「えき〜まち空間」 街区等の再整備	⑧ 「えき〜まち空間」内 (JR新駅ビル、阪急新駅ビルなど)	策定			運用
	⑨ 「えき〜まち空間」 周辺街区		計画、設計、整備		
	その他		エリマネ組織 立上げ、仕組みの構築		エリアプロモーション、公共空間利活用等

[主要プロジェクト]



- [公共空間再整備 (行政主導プロジェクト)]**
 - ①: 三宮クロススクエアの形成 (人・公共交通の優先化)
 - ②: 道路リ・デザイン (歩道拡幅等)
- [公共用地+民間用地 (官民連携プロジェクト)]**
 - ③: 新規バスターミナルの整備 (中・長距離バス乗り場の集約)
 - ④~⑥: 駅前広場の拡充等
 - ⑦: ポイドおよび歩行者動線の整備
- [街区再編 (民間開発誘導プロジェクト)]**
 - ⑧: 「えき〜まち空間」内 (JR・阪急新駅ビル再整備など)
 - ⑨: 周辺街区等の再整備